

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第3表 2003年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	鶴ヶ岡外遺跡第1地点	鶴ヶ岡5-177-3	5,526	事業所	2003.12.19~2004.1.22	2004.1.19~2.20	試掘後、調査会で本調査
2	鶴ヶ岡外遺跡第4地点	鶴ヶ岡1771-1他	5,911	給食センター	2003.12.10~12.24		試掘調査
3	亀居遺跡第57地点	鶴ヶ岡1-1-1	1,356	店舗	2003.4.24~4.28		試掘調査
4	鶴ヶ舞遺跡第7地点	鶴ヶ舞1-65-1	2,030	分譲住宅	2003.5.29~6.14	2003.6.23~7.3	試掘後、調査会で本調査
5	江川東遺跡第7地点	東久保1-160-47	88	個人住宅	2004.1.4		試掘調査
6	江川東遺跡第8地点	東久保1丁目150他	6,137	共同住宅	2004.3.25~4.7		試掘調査
7	江川南遺跡第18地点	東久保258-51,52他	240	共同住宅	2003.7.11~7.16		試掘調査
8	江川南遺跡第19地点	東久保1-185-1	1,129	店舗	2003.9.18~10.8	2003.10.10~11.14	試掘後、調査会で本調査
9	江川南遺跡第6地点	亀久保3-193	10	店舗	2003.4.16~4.24		試掘調査
10	東久保遺跡第53地点	東久保4-10	408	共同住宅	2003.5.7~5.22		試掘調査
11	東久保遺跡第54地点	東久保19-1	798	共同住宅	2003.5.9~5.22		試掘調査
12	東久保遺跡第55地点	東久保18-7	165	個人住宅	2003.6.9~6.12		試掘調査
13	東久保遺跡第56地点	東久保15-12	165	個人住宅	2003.7.31~8.5		試掘調査
14	東久保遺跡第57地点	東久保258-26	133	個人住宅	2003.9.29~10.1		試掘調査
15	東久保遺跡第57地点	ふじみ野2-4-3	133	個人住宅	2003.9.29~10.1		試掘調査
16	東久保西遺跡第16地点	東久保10-6	273	個人住宅	2003.6.3~6.4		試掘調査
17	東中学校西遺跡第23地点	東久保33-6画地	1,233	共同住宅	2003.8.5~8.13		試掘調査
18	東久保南遺跡第29地点	東久保60-5	357	駐車場	2003.5.19~5.28		試掘調査
19	東久保南遺跡第30地点	東久保58-13画地	164	個人住宅	2003.8.4~8.5		試掘調査
20	東久保南遺跡第31地点	東久保59-1,2画地	2,948	店舗	2003.8.21~9.1	2003.9.5~10.5	試掘後、調査会で本調査
21	東久保南遺跡第32地点	ふじみ野4丁目9-4	289	店舗	2004.1.26~1.29		試掘調査
22	西ノ原遺跡126地点	旭1-13-6,7	153	個人住宅	2004.2.23~2.25		試掘調査
23	神明後遺跡第22地点	苗間235-2,3	430	分譲住宅	2003.7.8~7.29		試掘調査
24	浄禅寺跡遺跡第23地点	苗間592-1	100	個人住宅	2003.4.28		試掘調査
25	小田久保遺跡第5地点	大井1023	165	個人住宅	2003.8.18~8.19	2003.8.20~9.2	教育委員会で本調査
26	本村遺跡第104地点	市沢3-4-1	804	共同住宅	2003.5.14~5.30		試掘調査
27	本村遺跡第105地点	大井2-12-4	131	個人住宅	2003.6.4~6.6		試掘調査
28	本村遺跡第106地点	大井2-1-11	135	分譲住宅	2003.7.2~7.8		試掘調査
29	本村遺跡第107地点	大井2-12-4	130	個人住宅	2003.7.3~7.5		試掘調査
30	本村遺跡第108地点	市沢2-6-25	109	個人住宅	2003.7.17~7.23		試掘調査
31	本村遺跡第109地点	市沢2-6-26	114	個人住宅	2003.7.17~7.23		試掘調査
32	本村遺跡第110地点	市沢2-6-27	101	個人住宅	2003.10.16~10.18		試掘調査
33	本村遺跡第111地点	大井2-16-2	1,033	分譲住宅	2003.11.4~11.20	2003.11.21~12.11	試掘後、調査会で本調査
34	西台遺跡第3地点	大井西台925-1	137	個人住宅	2003.6.16~6.30		試掘調査
35	西台遺跡第3地点	大井西台925-2、9	144	個人住宅	2003.6.16~6.30		試掘調査
36	西台遺跡第3地点	大井西台925-10、13	141	個人住宅	2003.6.16~6.30		試掘調査
37	西台遺跡第4地点	西台894-14,911-56	164	個人住宅	2004.1.15~1.16		試掘調査
38	東台遺跡第40地点	大井661	1,875	幼稚園	2003.10.6~11.4		試掘調査
面積合計			35,359				

Ⅶ 江川南遺跡の調査

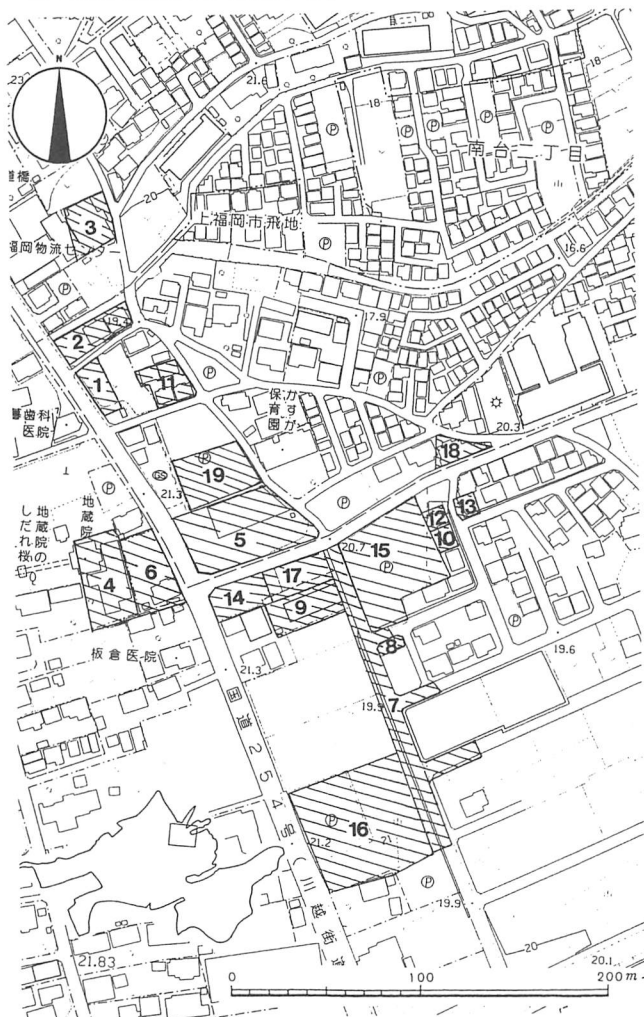
1 遺跡の概要

江川南遺跡は、入間川支流の新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約300～500m程下った右岸に位置している。

遺跡の標高は20～21mで、現谷底との比高差は約1～2mを測る。福岡江川北側の右岸は急傾斜を成すが、本遺跡をのせる南側右岸の台地は緩やかに傾斜する。

遺跡の中央部を南北に川越街道がはしり、川越街道から東に県道東大久保・大井線が延びる。主要道路が交叉し、東武東上線福岡駅から約1kmという立地条件のため、昭和40年代には個人住宅や工場などの急激な開発による市街化がなされ現在に至っている。

周辺の遺跡は、福岡江川の北西側対岸に縄文時代中期前葉の単一集落である亀居遺跡が位置し、同じく北側に鶴ヶ舞遺跡が位置する。東側約150mには、平安時代の遺物を出土する江川東遺跡と、同じく東側約50mに東久保遺跡が位置する。



第18図 江川南遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

本遺跡は当初、地藏院遺跡と江川南遺跡とに分かれていたが、平成5年に遺跡の変更増補を行ない、江川南遺跡に統一した。なお、1985年に調査した地藏院遺跡第1地点は江川南遺跡第6地点に名称を変更した。また平成9年には亀久保堀跡遺跡と本遺跡を分けた。

本遺跡では旧石器時代の石器・礫群、縄文時代中期の住居跡、土坑等、古代～中世の堀跡、地藏院に関わる近世の遺構群等、遺跡の時期は多岐にわたる。

2 江川南遺跡第6地点

(1) 調査の概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者より2003年4月11日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は1985年に第6地点として調査済みであるが、1995年に隣接地の第4地点で縄文時代の住居跡を検出し、今回の調査区にも住居跡が延長していることが明らかとなったため、原因者と協議のうえ試掘調査を実施した。

調査は2003年4月16日から同年4月24日まで行なった。住居跡の想定区域に幅約1mのトレンチを設定し、重機により表土除去した結果、住居跡を確認し、遺構を掘り下げた。確認面までは50cmを測る写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない、重機で埋め戻しをし、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 2号住居跡

【位置】調査区の西端に位置する。遺跡内では南端にあたる。本調査区では住居跡の東側約1/4を検出した。(「町内遺跡群Ⅵ」大井町教育委員会1997参照)

【形状】平面形態は楕円形を呈し、規模は5.0×4.2m、確認面からの深さは40cmを測る。炉は第4地点で検出しており石囲い炉である。床面は平坦で壁は緩やかに立上る。

【ピット】今回5基検出し、P1・2・5が主柱穴となる。

第9表 江川南遺跡2号住居跡ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
3	半堀	43 ×	16 ×	11	
4	円形	25 × 25	15 × 13	18	
5	円形	36 × 28	8 × 8	75	柱穴
6	円形	22 × 18	10 × 6	23	
7	円形	28 × 22	12 × 10	13	

【出土遺物】縄文中期の土器片180点余りと石器が出土した。土器は第4地点で報告分と同様の傾向で細片

5 江川南遺跡第18地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2003年6月3日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の東端に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年7月11日から同年7月16日まで行い、幅約2mのトレンチ1本を「L」字形に設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで90cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査終了した。

8月5日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は崖面に面した台地平坦面、遺跡の東側に位置するため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

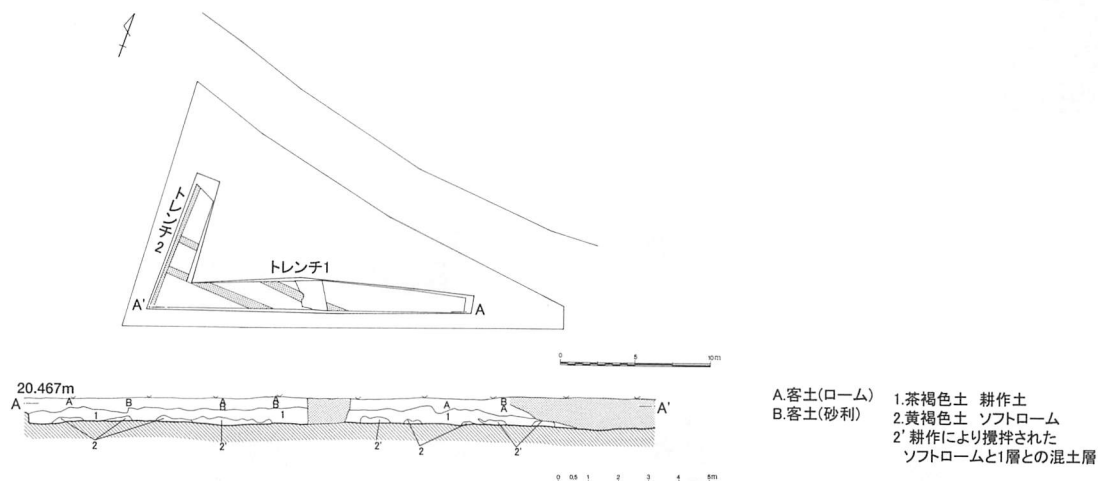
試掘調査は2003年9月18日から同年10月8日まで行なった。幅約2mのトレンチを6本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、堀跡、ピット、旧石器時代の石器群を検出した。原因者と再協議の結果、開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行い、試掘調査を終了した。

本調査は2003年10月10日から同年11月14日まで、大井町遺跡調査会が行い、旧石器時代石器群3ヶ所、縄文時代土坑・ピット、堀跡、溝を検出した。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)

6 江川南遺跡第19地点

(1) 調査の概要

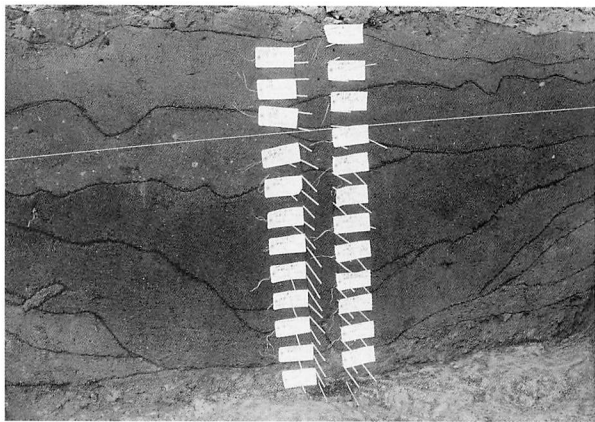
調査は店舗の建設に伴うもので、原因者より2003年18地点



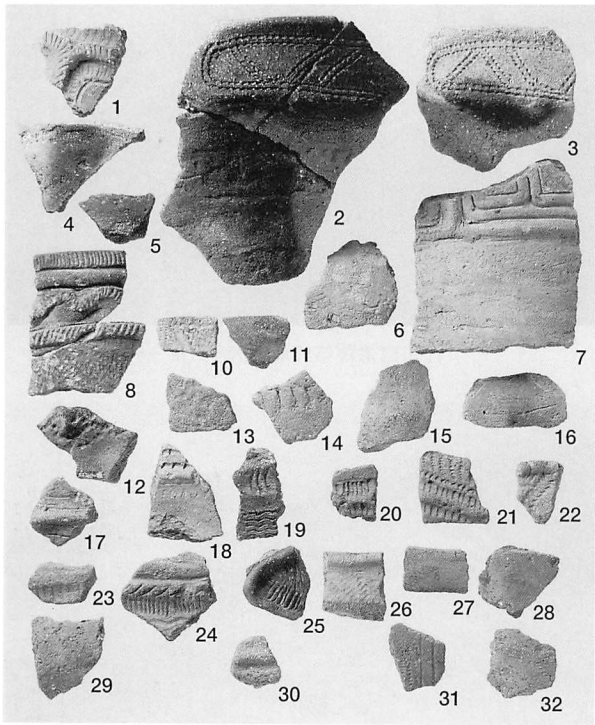
第23図 江川南遺跡第18・19地点遺構配置図 (1/500)、土層 (1/250)



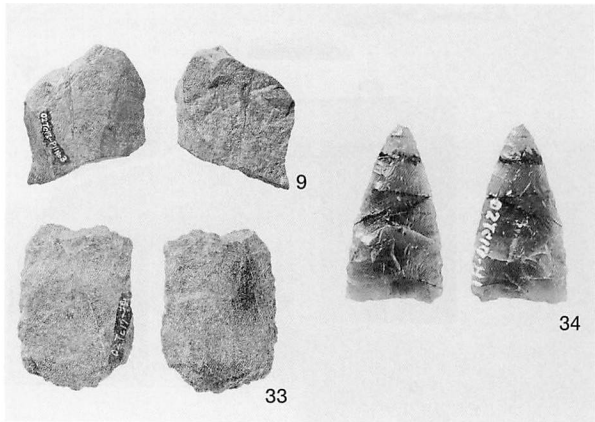
江川南遺跡第17地点堀跡段差



江川南遺跡第17地点溝サンプル採取



江川南遺跡第17地点出土石器



江川南遺跡第17地点出土土器



江川南遺跡第18地点試掘調査



江川南遺跡第19地点試掘調査



江川南遺跡第19地点本調査堀跡